階上町社会教育複合施設の整備について

～本に出会い、歴史に出会い、人々が出会い、集う場所～

・階上町社会教育複合施設は、「図書館」、「民俗資料館」、町民や観光客など来訪者の「交流」機能を併せ持つ施設です。
・町では、社会教育関係団体の代表者、図書室の利用者、有識者などからなる検討委員会や町民ワークショップを開催し意見を伺いながら、今年3月に基本構想・基本計画を作成しました。
・現在、その基本構想・基本計画に基づき、建物の計画、形状、構造、設備、用途、コストなどの基本的な設計の作成を進めています。

社会教育複合施設の基本コンセプト

町民がいつでも気軽に学習し、活動・交流できる場

① 資料や学習方法が多様化することで、より多くの学習ニーズや目的に応えることができる。
② 一元的な資料集積により、社会教育活動の充実を図ることができる。

みんなの居場所づくり

・各世代が安心して過ごせる居場所づくりは、それぞれのニーズに応じた環境を整えることが大切です。複合施設は、「町の居場所づくり」として、世代に合った活動や交流を通じて、個々の豊かな時間を提供します。

夏季は、猛暑・酷暑からの避難場所となる「クーリングシェルター」としても利用していただけます。

子どもたちの居場所づくり

・子どもたちにとって大切なことは、安心して遊び、学び、友達と関われる場所です。
・家庭や学校だけでなく、地域の大人たちが見守る「第2の家」のような居場所をつくることで、子どもたちの自分らしい成長を促します。

子育て世代の居場所づくり

・子育ては喜びがある一方で、悩みや孤独を感じることもあります。
・本を通じて親同士が気軽に話したり、情報を共有したりできる場所をつくることで、支え合いが生まれます。「ひとりじゃない」と感じられる場を広げていくことが大切です。

高齢者の居場所づくり

・高齢者にとっての居場所は、健康を保ち、生きがいを感じるための大切な場です。
・昔の仲間と集まったり、新しい趣味を見つけたり、若い世代とふれ合ったりすることで、心も体も元気になります。

建設予定地

・複合施設の整備は、町の財政負担の軽減を図るため、国庫補助および起債（借入）を活用して整備します。
・建設予定地は、令和5年3月に策定した階上町立地適正化計画で設定した耳ケ吠地区の都市計画誘導区域内（赤枠内）とし、近隣に階上交番や商業施設などが点在し、かつ、コミュニティバスの発着所がある「役場庁舎敷地内」としています。

町の“まんなか”に位置する役場を中心としたエリアに複合施設を整備することで、複合施設のにぎわいがエリアの“顔”となりながら各施設を“つなぐ”役割を担うことで、役場エリアの機能を高めます。

施設規模

・施設規模は、核となる図書館と資料館および活動・交流スペース、そして建設予定地の敷地面積を考慮し、約2,000㎡を目標値としています。

概算事業費

・複合施設の概算事業費は約22億円ですが、財源については、建設費の約半分を国からの補助金、それ以外を借入金を活用し、町の財政負担を軽減しながら、事業に取り組みます。

※開館は、令和12年度を予定していますが、国庫補助金を活用することとしていることから、その状況によっては後年度に延びる可能性があります。

整備スケジュール

令和6年度	基本構想・基本計画
令和7年度	基本設計
令和8年度	用地取得
令和9年度	解体設計／実施設計（建築・展示）
令和10年度	解体工事／建設工事
令和11年度	建設工事／展示制作／開館準備
令和12年度	開館（予定）

■詳しくは、「階上町社会教育複合施設基本構想・基本計画」と検索し、町ホームページで確認できます。

問 教育課　社会教育グループ
☎88-2698